

# 山口コ・メディカル学院 自己評価表

令和7年(2025年)1月

## 1 教育理念

広い視野をもった誠実な医療の専門家をめざして

## 2 教育方針

「高い専門性」と「豊かな人間性」「人間関係力」を備えたりハビリテーションの専門家の育成

## 3 教育目標

- 1 知識と技術を習得し、専門的な技能を身に付けるための効果的な教育の実践
- 2 人間関係力の高揚を目指したグループワークや学校行事の実践と指導
- 3 学生一人ひとりを大切にしたいきめ細かい教育の実践
- 4 教育活動を通して、医療に携わる人間としての心構えと人間性の涵養

## 4 評価項目の達成及び取組状況

### (1). 教育理念・目標 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)

評価項目	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.7
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.2
・学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	3.0

教育理念などは定められているが、実践には至っていない。

人間性を高める機会が必要

マナーや礼儀などの講習が必要

学年を越えたふれあう機会を増やす。

時代の変化に対応した学校の将来構想が定まっていない。

少子化と大学志向が進む時代において、専門学校として差別化できる理念や目標が必要である。

学校の理念などは入学前に OPC などで伝えているが、入学後に伝える場面が少ない。

教育のあらゆる場面で、教職員一人ひとりが理念や目標を話し伝えることやそれを意識した指導が肝要である。

ディプロマポリシーについては検討が必要である。

### (2). 学校運営

評価項目	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.3
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.2
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2.5

・人事、給与に関する規程等は整備されているか	2.2
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2.6
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2.9
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.0
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.4

組織としての動きや役割などが共通理解されていない。  
校務分担の見直しと業務改善が必要である。  
学校としての意思決定のシステムが不明確である。  
情報システムの効率化よりも業務量が増えている印象がある。  
業務の無駄を除き、仕事を効率的に分担していく。  
学校法人として認可された学校においては、情報の公開は原則である。

### (3). 教育活動

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.5
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.7
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.3
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.3
・成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.5
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.3
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2.9
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.7

上段 学生  
下段 教職員

実習を早く終わらせ、国家試験の学習を早めに始める。  
国家試験対策を1,2年時から実施していく。  
デジタル教育の充実  
パソコン離れしている世代にとって、タブレット使用は適切か？  
学校として学生に対して学習成績の評価基準の明確化が必要である。  
カリキュラムの見直しを定期的にする必要がある。  
基礎科目の職業との関連性、教養科目の体系化が必要である。  
授業の到達レベルを検討する必要がある。  
シラバスに基づいた授業と評価の実施

学生に対して試験や評価のフィードバックが必要である。  
夏休みなど長期休業期間の確保が必要である。

#### (4). 学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	3.6
・資格取得率の向上が図られているか	3.4
・退学率の低減が図られているか	3.0
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.0

上段 学生  
下段 教職員

2年時に就職について知る機会を少し入れてほしい。  
近年の国家試験過去問をする機会を増やす。  
授業以外での補習など個別の支援が必要である。  
勉強不足、学力低下がみられる学生への指導や支援が必要である。  
学生の学習意欲や能力が変化してきている。  
国家試験合格を目標とする中で、カリキュラムの変更が必要となってきた。  
学生の意識や能力のレベルをふまえた授業内容や方法の再検討が必要である。  
退学率は以前に比べて、少なくなっている。  
入学者数の確保もあるが、入学試験の合否判定を検討する必要がある。  
卒業生との関係を密にして、社会的な活動や評価を把握する。  
卒業時の就職率よりも、卒業後の仕事ぶりや社会的貢献が大切である。  
卒業後の職場変更について連絡を求める必要があるか？

#### (5). 学生支援

評価項目	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.6
・学生相談に関する体制は整備されているか	3.5
・学生に対する経理的な支援体制は整備されているか	3.1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.4
・学生の生活環境への支援は行われているか	3.2
・保護者と適切に連携しているか	3.2
・卒業生への支援体制はあるか	2.8

上段 学生  
下段 教職員

教員が多忙であり、学生相談の時間が確保されていない印象がある。  
学生相談の機会を増やしてほしい。面談が少ない。  
支援体制を構築・整備し、学生への周知が必要である。  
学生の生活環境にどこまで立ち入ってよいのか判断に迷う。  
保護者会を実施しており、連携は出来ている。

求人施設の修学支援奨学金や奨学金返済支援制度などの情報公開の検討が必要である。  
 学生の経済的負担の軽減を学校として取り組む必要がある。  
 卒業生から相談や連絡があれば支援をする程度でよい。

#### (6). 教育環境

評価項目	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.1
・学校教育の場として先端技術の導入がある程度なされているか	2.8
・防災に対する体制は整備されているか	2.7

今年度は古い機器等を処分し、新しい機器を導入した。  
 指定規則を満たす整備は出来ている。先端技術の設備は十分ではない。  
 年度を越えた計画的な機器購入の検討が必要である。

#### (7). 学生の受入れ募集

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	3.6
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.5
・学納金は妥当なものとなっているか	3.5

学院の特色や教育成果などを共有化しておくことが必要である。  
 入学金40万円は高い。  
 学校案内パンフレットやホームページなどのリニューアルが必要である。  
 卒業生が学校のことを周囲にどのように伝えているか、口コミの力は大きいと思う。  
 インスタグラムなどの発信頻度を上げる。

#### (8). 財務

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.2
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.4
・財務について計画監査が適正に行われているか	3.4
・財務情報公開の体制整備はできているか	3.4

財務情報の公知。公開の体制整備を行う。  
 借入金もなく財務基盤はしっかりしているが、今後黒字化になるように、  
 学生数を増加させることが重要である。  
 適正な支出とするべき予算段階での見直しが必要である。  
 収入のほとんどは学生からの納付金である。「学生から預かっているお金である」と  
 という考えを常にもち、学生に還元できるように予算執行をすることが大切である。

### (9). 法令等の遵守

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.8
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.4

公開はもちろんであるが、私たち教職員も学院の状況を把握しようとする姿勢が必要である。

この自己評価をもとに改善すべきところは改善していくべきである。

#### 【学生の全体的な意見】

教員が学生に過ごしやすい環境を整え、熱心に指導していただいているので、充実した学生生活を送ることができている。  
本学院で医療を学ぶことができたことを誇りに思っている。  
外部講師による高い専門的な講義を受けることができる。  
学院が掲げる教育方針を実現しようとしている。  
カリキュラムが充実しており、質問にすぐ答えてくれる先生が多い。  
学年や学科を越えて学生が交流することで学生一人一人の人間性の成長、礼儀やマナー協調性も身に着けることができる。  
教員に質問をしやすい環境である。  
毎日充実して過ごせる学校である。  
専門分野は大変だが、友人と協力して乗り越えられているという印象である。  
行事もあり、メリハリをつけて学生生活を過ごしている。  
大学に比べて夏休みは少ないが、春休みが長く、旅行やアルバイトで充実している。  
学生も先生も大変優しく思いやりがあるのが一番の魅力である。  
教員が学生一人ひとりのことを思って接していただいている。  
進路など悩みの相談しやすい環境である。  
就職に関しては充実している。面接指導の支援もよい。  
同じ目標をもった同級生と勉強するのは楽しい。  
学年を越えた関わりを増やすとよい。  
解答や解説などのプリントを配ってほしい。  
新型コロナの影響もありサークル活動が停滞していたので活性化をする必要がある。